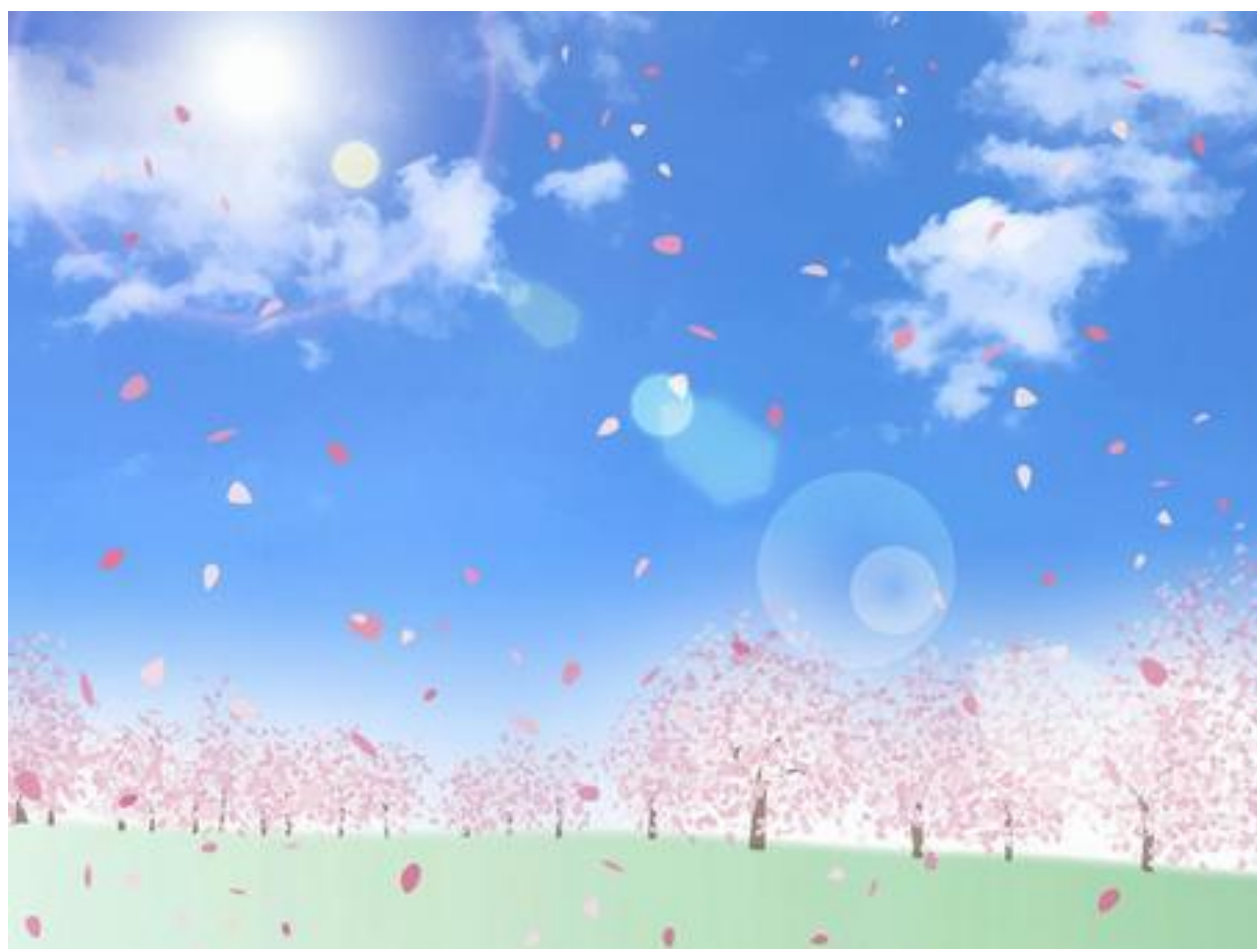


令和3年度

国臨協関信支部
神奈川地区会
会報誌
第 70 号



令和4年6月発行

会長挨拶

ご挨拶 ようこそ神奈川地区会へ

神奈川地区会会長 樋口 晶子



久里浜医療センターの樋口です。昨年4月に技師長として着任し、10月より地区会長を拝命しております。会員の皆様にはいつも地区会活動へのご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。

今年度こそはと思っておりました、集合型のレクリエーションは中止し、総会は書面表決することを決定し、研修会もwebで行う方向で会務を進めております。

この原稿を書いている令和4年5月、行動制限のない大型連休は3年ぶりで行楽地の賑わいや空港の混雑を連日ニュースが伝えています、会報誌70号が発行される令和4年6月の気候や社会情勢、そして新型コロナウイルス感染症を取り巻く環境は私たちの業務や生活にどのような影響をもたらしているのでしょうか。先の読めない時代を生きているのだと、実感させられています。

コロナ禍でありながらこの3年で神奈川地区施設は多くの技師長、副技師長が入れ替わりました。新しい顔となった施設に昇任や配置換えでいらした皆様、また新たに採用された会員の皆様は環境に慣れ活躍されていることと思います。人が入れ替わることは、組織や業務に精通した方がいなくなることを思うと戦力ダウンとなりマイナス面に目が向きがちですが、新たな視点で見直しができ、マンネリからの脱却というプラス面ももたらします。特色や伝統を守りつつ新しい風を取り入れて新陳代謝を促していくのはいつの時代もどこの組織にも必要なことと言えます。ぜひ、新しいパワーを注いでください。人は大事な資源であり人との出会いは大きな財産です。なかなか思うように人と会えない期間が続いておりますが、神奈川地区会活動の小さな出会いが大きな財産に発展していくことを少しでも後押しできればと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



新会員の挨拶

NHO 相模原病院

「自己紹介」

NHO 相模原病院 岩崎 聖二



令和 4 年 4 月 1 日付で千葉医療センターより昇任で参りました岩崎と申します。

これまで国立療養所松戸病院、国立がん研究センター東病院、前施設と千葉県内をめぐっていましたが、神奈川で働くのも生活するのも初めてです。また、多くの方は初めてお目にかかると思います。

赴任する前、いろいろな方から情報を吹き込まれ、頭でっかちの状態を訪れた相模原病院は、増改築と修繕によるパイプむき出しの内外観は初任地の松戸病院のようで、初心に帰る思いです。

この相模原病院はリウマチ・アレルギー疾患の準ナショナルセンターであり、地域医療の中心的な病院で、救急医療も積極的と伺いました。検査技師になってから、ほぼがん医療しか携わっていない私の役割は何かと模索しているところです。幸いにも心強い武山技師長と若林副技師長と共に、大切な仲間と過ごすこの時間を大事にしたいと思っています。私的には初めての単身赴任生活が始まり、家計に響くのが痛いところですが、料理好きの私には食の不安はなく、住まいのコンロがガスじゃなく IH であることが不満です。また、いろいろなアウトドア遊びが趣味のため、近くの相模川や丹沢の山々をみると何してやろうかとゾクゾクします。そのうち釣り道具やキャンプ道具を持ち込んで出かけようと、スマホで地図と衛星画像を見る毎日です。陸海空と外遊びの守備範囲は広いので機会がありましたら是非、お誘いください。

こんなご時世なので地区会の皆様との交流はなかなか難しいかもしれませんが、楽しめる日が来るまで力を合わせて頑張りましょう。これからどうぞよろしくお願いいたします。



「自己紹介」

NHO 相模原病院 柳 進也



この度、令和4年4月1日付で配置換えにより相模原病院でお世話になることとなりました、柳進也と申します。国立病院機構で働きはじめ、19年目？となり、東京、千葉、埼玉とわたり歩き、ここ相模原病院のある神奈川県で4施設目となりました。学生時代に横浜市港北区日吉に住んでいたことがあり、これで2度目となります。

担当業務は病理・細胞診であり、相模原病院でも引き続き業務させていただくこととなりました。自分は人見知りなところがあるため、新天地での新たなスタートに未だに毎日おびえています。

また、コロナ禍になっておろそかになっておりますが、自分は体を動かすことが趣味であり、非常にマニアックな競技ではありますが、ブラジルの伝統的な格闘技であるカポエイラを約10年続けており、誰も興味はないかと思いますが、黄色帯のモニターまで昇段しました。ちなみにその間半月板を断裂、縫合したのち、再度断裂させるに至りました。半月板が断裂して以降、正坐するたびに膝が外れるようになりました。話は脱線してしまいましたが、相模原病院でも全力全開でがんばりますので、皆さんよろしく願いいたします。

「自己紹介」

NHO 相模原病院 西村 太志



令和4年4月1日より、相模原病院に採用になりました西村太志(にしむらたいし)と申します。

神奈川県横浜市で育ち、高校までは野球部に所属し、セカンドをメインに守っていました。得意なプレーは送りバントやスクイズで、バントには絶対の自信があります。現在は新型コロナウイルスの影響で、多くの活動は出来ませんが、週に1度バッティングセンターなどで軽い運動は続けており、趣味として野球観戦を毎日の楽しみにしています。好きな野球チームは横浜ベイスターズです。野球が好きな方がいらっしゃればぜひ声をかけていただけたら嬉しいです。また、学生時代はカメラを持って鎌倉などに行くことが好きでした、

仕事を始めてからはカメラを持って出かけることは出来ていませんがコロナが落ち着き、自分に余裕ができた時にはカメラを持って近くだけでなく四国などに遠出をしてみたいと思っています。おすすめのカメラスポットなどがあれば教えていただけると幸いです。

現在は病理の業務トレーニング中です。学生時代から得意教科ではありませんでしたが、興味のあった分野ですので日々新しいことを吸収できることが新鮮であり、とても充実しています。学生時代に勉強していた知識と実際に触れる現場での知識は全く違うため、戸惑うことも多いですが、日々、先輩方に指導してもらいながら少しずつではありますが、業務を覚えていっています。一日も早く戦力となり、患者様の健康に寄与できるよう日々精進していきますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。

NHO 横浜医療センター

「地元施設に赴任して」

NHO 横浜医療センター 吉田 茂久



この度、4月1日付けの人事異動で、群馬県渋川市にある渋川医療センターより横浜医療センターに臨床検査技師長として配置換えで赴任した吉田です。どうぞよろしくお願い致します。まずは簡単に自己紹介をしたいと思います。自宅は神奈川県川崎市高津区にあり、最寄り駅は武蔵小杉で、近年、超高層マンション群が建設され、大型商業施設（グランツリー武蔵小杉等）が開業し、関東版住みたい街ランキングで14位（2022年：SUUMO調べ）となっています。家族は、妻と子供2人、愛猫2匹（スコティッシュフォールド）で、大の猫好きです。

職歴は平成4年に国立東京第二病院（現：NHO 東京医療センター）に採用され、平成18年にNHO 水戸医療センターに主任技師として赴任し人生初の単身赴任を経験し、その後、国立がん研究センター中央病院、国立がん研究センター東病院、NHO 信州上田医療センター、NHO 渋川医療センターを経て、今回初めて地元施設での勤務となります。身長が185cmと大きいことと、平成28年から国臨協関信支部活動をしておりますので、御存じの皆様も多いかもしれません。また、令和3年度からは支部長という大役をおおせつかり、微力ではありますが関信支部の発展のために努めさせていただいております。地区会活動で一緒した際は気軽にお声がけください。

横浜医療センターに赴任して1カ月が過ぎました。長年「地元の施設で働きたい！」と希望して来た夢が叶いました。今後はライフ・ワーク・バランスを大切にしながら、初心に戻ってこれまでの経験を活かし、副臨床検査技師長はじめスタッフの皆さんのご協力を得ながら、地元への恩返しをしたいと思います。神奈川地区会の皆様、末長くよろしくお願い致します。



「自己紹介」

NHO 横浜医療センター 外川 靖士

令和4年4月1日付で東京医療センターから横浜医療センターに配置換えできました外川靖士と申します。着任してから早一か月が経ち、徐々に慣れてきた所でございます。私は国立成育医療研究センターで採用され、渋川医療センター(旧 西群馬病院)、東京医療センターに勤務してきました。それぞれの施設では貴重な経験をさせていただきました。これまで主に細菌検査や検体検査、病理検査に携わり、広くやってきたと思っております。現在は細菌検査を担当しています。



身長が高いのでよく聞かれますが、186 cmあります、羨ましがられることもありますが、実は不便なことも多いです。

特に服のサイズがないことが多いのでインターネットで購入をするのですが、何度も失敗しています。趣味はスノーボードや釣りと言いたいところですが、ここ数年はまったくできていません。今年こそは行きたいと思っています。最近、ガーデニングを始めました。実際にやってみると、育て方にそれぞれポイントがあり、花を多く咲かせる方法や土の種類など、奥が深いなと思いました。コロナ禍の中、自宅で過ごすことが多くなりガーデニングをする人が増えているそうです。適度な運動となるみたいなので一石二鳥でいいかなと思っています。まずはトマトを植えてみたので、夏に収穫できるのが楽しみとなっています。このような私ではございますが、神奈川地区会の皆様どうぞよろしくお願い致します。



NHO 神奈川病院

「自己紹介」

NHO 神奈川病院 大木 仁



この度、国立国際医療研究センター病院から神奈川病院に昇任で着任致しました大木仁と申します。私は保健所や検査センターを経て、国立病院機構に入職しました。静岡医療センター、国立国際医療研究センター病院、そして現在の神奈川病院と NHO では3施設目になります。

生まれも育ちも神奈川県の小田原になりますので、秦野市にある神奈川病院は私の中で地元感がとても強く愛着が湧いております。また、国立国際医療研究センター病院では抗酸菌の臨床研究メンバーとして研究にも携わらせていただいております。神奈川病院も結核病棟を有しており、抗酸菌の知識の拡充が

できる魅力的な病院に着任できたことに大変喜びを感じております。

私は学生時代からひたすら微生物の研究（深海の微生物）や検査ばかり行ってきましたが、現在は検体検査を任されており、偉大な諸先輩方に業務を教えていただきながら充実した毎日を過ごしております。着任した初日、検体検査室の窓からは満開の桜が咲いておりました。話によると鹿や猪も出現するらしいので今から遭遇できるのを楽しみにしております。

趣味はバドミントンをする、サッカーなどのスポーツ観戦、釣り、旅行等になります。バドミントンは高校から現在までずっと続けており、大会などにも参加しております。コロナ禍ということもあって運動することを怠けてしまい身体がブヨブヨになってしまいましたが、コロナが落ち着いて大会が再開されるまでには体型を戻すことを目標に頑張っています。

最後になりますが、まだまだ未熟で至らないところばかりですが、日々精進して参りますので引き続き、皆様のご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い致します。



NHO 久里浜医療センター

「自己紹介」

NHO 久里浜医療センター 屋代 達



この度、令和4年4月1日付で栃木医療センターより久里浜医療センターに昇任で参りました屋代達と申します、宜しくお願い致します。

神奈川地区会は2施設目になります、3年前配置換えで栃木医療センターに転勤した折は3年後神奈川県に転勤することになるとは全然考えもしませんでした。千葉県、東京都、栃木県、群馬県、神奈川県と変わり今回3年振りの単身赴任生活をしています。

私の趣味は40年以上相も変わらずギターを続けています。アコースティックギターもありますが、基本はアンプを通したエレキギターです。数年前になるかと思いますが、「ボヘミアン・ラプソディ」という映画が話題になった

のをご存知の方はいらっしゃるでしょうか。この映画は英国のロックバンド「クイーン」のボーカリストであり AIDS で亡くなったフレディ・マーキュリーを主演にしたものです。クイーンは私が中学生の頃「三大ロックバンド」と呼ばれておりこの映画で久しぶりに聞きましたが曲はもちろんギターフレーズも覚えており自分でもびっくりでした。

今回の転勤初日には嬉しいことがありました。緊張しながら挨拶まわりをしていると地域連携室の看護師長さんから「私のこと覚えてる？こっちは直ぐにわかったわよ」、事務の方からは「僕のことわかりますか」と声をかけられ、緊張の中改めて人との繋がり有難さを思った次第です。

久里浜医療センター臨床検査科は6人と少人数ですがとてもアットホームで昇任での転勤の中、緊張と不安でいっぱいでしたがスタッフの力添えを頂いて何とか日々業務をこなすことができております。至らない点が多々ありご迷惑等おかけするかと思いますがご指導ご鞭撻の程何卒宜しくお願い申し上げます。



「自己紹介」

NHO 久里浜医療センター 足立 裕美



令和4年4月1日付で久里浜医療センターの臨床検査技師として採用されました、足立裕美と申します。ひらがなでもう一度失礼します、「あだちゆみ」です。はい、同情するなら金をくれで有名な芸能人と同じ名前です。漢字は一文字も合っていないのですが、口頭で自己紹介する際は読みが同じですのでよく芸能人のあだちゆみと一緒にと言われました。もしお会いすることがあり、ご挨拶させていただけるのであれば、ぜひ同情するなら？と質問してください。元気よく金をくれと返事させていただきます。

趣味は音楽と二次元を見ることです。ちなみに二次元とはアニメ・漫画のこととして、未だに私よりも詳しい二次元マスターはほとんど見たことがありませんので、自分こそは二次元マスターだとおっしゃるチャレンジャー様をお待ちしております。音楽は聴くのも歌うのも楽器を触るのも好きです。

仕事に関しましては、先輩技師の方々にお忙しい中一つ一つゆっくり指導していただいています。初めてのことでばかりで自分の無知・無力さを感じておりますが、業務や検査結果について質問した際も丁寧に説明してくださり、感謝だけでなく尊敬の念も抱いております。まずは生理検査業務から始め、検体検査業務も並行して覚えていき、一日でも早く皆様や患者様にお役に立てるよう努めて参ります。

医療従事者としてだけでなく社会人としても未熟ですが、少しでも先輩技師の方々に近づけるよう日々励んでいきたいと思っております。またいずれは認定資格にも挑戦し、様々な経験を積んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



NHO 箱根病院

「自己紹介」

NHO 箱根病院 植松 明和



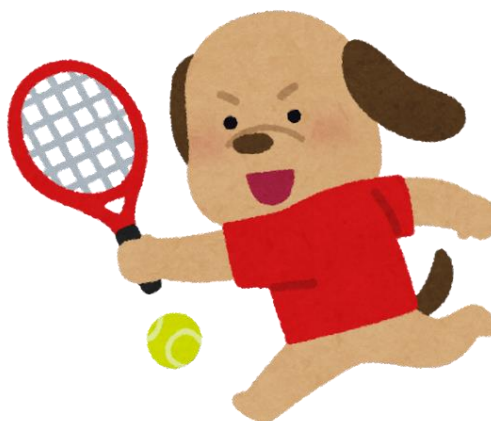
4月1日付で、千葉医療センターから箱根病院に異動して参りました植松明和と申します。

箱根病院は私にとって6施設目となりますが、東京→長野→東京→長野→千葉→神奈川と異動してきたため、神奈川地区会には初めての参加となります。私は知力よりも体力勝負の脳筋系で計略に弱いところがありますが、みなさま何卒お手柔らかによろしくお願いいたします。

趣味はテニスを中心にスポーツ全般、読書、ゲーム、天体観測、最近ではアニメなどにも手を出しております。その中でも社会人になってから始めたテニスは、病院の様々な職種の方々と楽しみながら、2施設でテニス部の幹事を行い、

テニス部のない施設ではテニス部を立ち上げてきました。すでに箱根でも声は掛けているのですが、コロナ禍のためなかなか募るのは厳しく、二人でボレーボレーをやる程度からスタートしようと思っております。箱根病院は神経筋・難病医療を専門とする病院であり、筋ジストロフィーなどの筋疾患、筋委縮性側索硬化症（ALS）やパーキンソン病などの神経変性疾患の患者さんが多く、日々病と闘っています。私はこれまで生理検査担当の期間が長く、とくに神経伝導検査や心臓超音波検査には力を注ぎできました。今まで培ってきた技術や知識が少しでも患者さんのために役に立つよう努力したいと思います。また、神奈川地区会のみなさまにも、臨床神経生理学の魅力をお伝えしていきたいと思っております。

最後にコロナが終息し、みなさんとスポーツや飲み会などを通して、コミュニケーションがとれる日を楽しみにしております。重ねてよろしくお願いいたします。



施設のトピックス

NHO 相模原病院

NHO 相模原病院 安田 秀平

新型コロナウイルス感染症が流行して早いもので 2 年が過ぎました。依然コロナ対応に追われる日々が続いていますが、発生当初より病院一丸となり取り組んできたおかげで、迅速に対応できる体制が整ってきていると感じております。相模原病院では、抗体検査（定性）・抗原検査（定性）・遺伝子検査（LAMP 法・PCR）を院内で実施しており、職員体調不良者・入院前スクリーニング・術前スクリーニング等に対して、検査内容を使い分けて対応しております。さらにコロナによる、病床管理・感染対策等で発生する職員の業務負担・患者負担を少しでも軽減できるよう、医師・看護師・コメディカル・事務と日々連絡を取り合い、検査がスムーズに実施できるよう取り組んでおります。その中で、これまで他職種の業務内容を詳しく知る機会が少なかったのですが、日々のやりとりで苦労・改善点等をお互いが知るきっかけとなり、今では積極的に職員同士が業務改善していこうと意識的にコミュニケーションを図っています。

相模原病院では職員・患者のコロナ感染により診療制限・病棟閉鎖を経験しました。

多数の職員欠員による業務影響は多大なもので、専門外の職種の方が補助に入るほど切迫していた状況もありました。バックアップ体制を整えておくということがどれだけ大事なことであるか、痛感させられた瞬間でした。現在、土日夜間対応を見据えてコロナ検査対応者増員のためのトレーニングを実施中です。さらにコロナ検査だけでなく、今後どのような状況下でも通常業務を維持できるよう横断的に検査実務できるよう、各部署との連携に努めます。



NHO 横浜医療センター

NHO 横浜医療センター 安中 未華

横浜医療センターは、横浜市南西部の地域中核病院として急性期医療を担っています。今回は、当院での新型コロナウイルス検査の現状について紹介させていただきます。

現在当院では、新型コロナウイルスの検査として抗原定性検査と PCR 検査を実施しています。PCR 検査は、開始当初数名の技師のみで検査を行っていましたが、トレーニングを重ねその後は全部門の技師が携わっています。そのため、土日祝日にかかわらず毎日検査を行うことが可能となりました。現在は中等度から重症の患者を対象とし入院・術前の患者や職員の検査を行っていますが、オミクロン株の出現による感染拡大の影響もあり、直近の 2～3 ヶ月は入院患者や職員の検査数も増加しました。1 日で 20 件以上検査が出ることもあります。2 種類の機器（簡易操作で短時間で結果が出る GENE Xpert と操作は煩雑だが一度に多数検体の検査ができる GENE CUBE）を使い分けて検査を行い、迅速に対応することが可能となりました。検査数が増加しても高い精度を保つため、特に一つ一つ着実に検査を進めるよう日々心掛けています。

コロナ禍になり PCR 検査が開始されたり、徹底した感染対策が求められたりと、様々な変化がありました。これから先、GW の影響などで再度感染拡大するのか、このまま収束していくのかわかりませんが、少しでも早く落ち着いた日々になるように願い、これからも検査科一丸となって頑張っていきたいと思います。



NHO 神奈川病院

神奈川病院 谷岡 健作

重症心身障害病棟開棟 50 周年式典・秋楽祭を実施いたしました。

1971 年に開棟した神奈川病院の重症心身障害病棟は、今年で 50 周年を迎えました。

重症心身障害とは、重度の知的障害、身体障害を併せ持つ、医療的ケアを必要とする方たちで、当院は国立病院機構としてセーフティーネット医療を展開する医療の場でもあるとともに、生活の場でもあります。

早いもので半世紀の間、重度の知的障害と身体障害を持つ方たちの生活の場として、その人生とともに歩んでまいりました。

節目の年を迎え、2021 年 10 月 13 日（水）、重症心身障害病棟 3 階ホールにおきまして、重症心身障害病棟開棟 50 周年記念式典を執り行いました。

新型コロナウイルス感染症対策の観点から、対面でなく配信という形をとり、ホールと病棟をインターネットで中継することで、病棟の皆様とリアルタイムで繋がりました。

橋詰院長先生の挨拶に始まり、来賓の方々よりお祝いのメッセージをいただき、懐かしい写真のスライドショーなどでこの 50 年間を振り返りました。

式典と同日、「秋楽祭」を開催しました。例年にご家族をお招きし、ボランティアに多数来院いただいて開催していたのですが、こちらも感染対策の観点から、院内関係者のみで実施させていただく運びとなりました。院内スタッフで職種を超えて協力体制をとり、いくつもの出店やイベント盛りだくさんの「秋楽祭」を実施することが出来ました。天候に恵まれず、野外での開催とはなりませんでした。重症心身障害病棟全体をレイアウトしてお祭りの雰囲気盛り上げ、ソフトクリームや綿あめなどを味わい、介助者と一緒にゲームを楽しむなど、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

感染症の流行が終息し、またいつも通りご家族やボランティアの皆さまに来院していただける日が早く来ることを願います。

今後もそれぞれの個性と QOL を大切にして、かけがえのない病院であり続けるよう検査科としても努力していきます。



NHO 久里浜医療センター

NHO 久里浜医療センター 近藤 南



久里浜医療センターは病院敷地から海が見えるのどかな病院です。しかしそんなのどかさに似合わず、昨年から様々な出来事がありました。

まずは新病棟の完成と 2021 年 10 月からの稼働です。敷地内に点在していた 5 病棟が、医療観察法病棟を除き全て統合され、一つの建物に集約されました。職員や患者、物資の移動がスムーズになるなど業務効率化が格段に進みました。さらに、個室が増床され広い患者ニーズに対応できるようになりました。

次に新型コロナウイルス抗原定量検査を行える汎用機を 2022 年 2 月末に導入しました。今まで当院では抗原定性検査しかできませんでしたがこれで定量検査も行えるようになりました。そのため、

検査の対象は、入院時及び発熱患者のみでしたが、保健所から要請のあった患者にも対応することになりました。

そしていよいよ、2022 年 5 月末から電子カルテが導入されることになりました。紙カルテから一気に電子化するので様々な課題があります。この記事を執筆している現在はワーキンググループを発足し様々な検討を行っている最中です。中々思うように進んではおらず、電子カルテの導入がいかに困難か身をもって痛感しています。

現在は導入に向けてラストスパートの真っ最中。不安な部分もありますが、問題なく運用できるようにしっかり取り組んでいます。その時をとても楽しみにしています。



NHO 箱根病院

箱根病院の新型コロナウイルス検査現状について (当院の紹介を兼ねて)

NHO 箱根病院 熊野 寿世

皆さん、箱根病院と聞いてどのような病院だと思いますか？

突然訳の分からない書き始めで申し訳ありません。

また、植松技師長の自己紹介と重なってしまい、同じ内容となる部分もありますが、最後までお読みいただけると幸いです。

私は昨年、当院に転任して今2年目になりました。かく言う私も転任するまでは箱根病院と聞いても、普通の病院としか認識をしていませんでした。

箱根病院は神経難病に特化した病院です。その中でも重症筋無力症の診断や診療の充実に力を入れていく方向にあります。ALS、パーキンソン病の方などの疾患の方をはじめ、筋ジストロフィー症の方も診療しています。

当院に転任する前に勤務していた施設では、新型コロナウイルス検査で何度も陽性を見てきましたが、昨年4月に、当院にきてからはずっと陰性ばかりを報告していて、ふと、「私の手技は間違っているのではないのか…」や、「分析器は正常に作動しているのだろうか…」などと考えてしまうくらい陰性が続いていました。それからオミクロン株感染が増えてきた頃、陽性を報告しました。それが当院の第一号の陽性者だったのでした。当院では2021年3月よりPCRを実施していましたが、それまで1人も陽性判定がなかった事に大変驚きました。

当院は医療型療養介護という形の入院がほとんどで全介助を必要とする方から一部介助で動ける方まで様々な患者さんがいらっしゃいますが、長期の入院となる方が多く、緊急入院はあまりなく、予定入院（短期入所も含めて）がほとんどです。そのため入院時の問診時に発熱や症状もないことから陽性に至ることも少ないのではないかと考えられます。

（ちなみに短期入所とはレスパイト入院といい、患者さんの介護する方の休息のための入院という意味です。）

また、神経難病の方々はたとえ入院していなく自宅療養となっても、行動範囲などが自宅内や、外出しても遠出は困難で、濃厚接触者となる方も限られているため、感染がおこりにくいのかもかもしれません。毎日少ない件数ですが検査を実施しても、報道等で耳にする感染状況とはいつもギャップを感じています。

以上、当院の現状と紹介を兼ねて書かせていただきました。



国臨協関信支部神奈川地区会会則

平成 06 年 03 月 05 日 施行
平成 17 年 02 月 26 日 一部改訂
平成 20 年 03 月 01 日 一部改訂
平成 21 年 03 月 07 日 一部改訂
平成 22 年 10 月 30 日 一部改訂
平成 24 年 04 月 01 日 一部改訂
平成 27 年 11 月 14 日 一部改訂
令和 02 年 10 月 30 日 一部改訂
令和 03 年 10 月 15 日 一部改訂

(名称)

第 1 条 この会は、国臨協関信支部神奈川地区会(略称神奈川地区会)という。

(目的)

第 2 条 この会は、研究・学術ならびに知識の向上さらに施設相互の交流、会員相互の親睦等を図ることを目的とする。

(事業)

第 3 条 この会は、前条の目的達成のために、必要な事業を行う。

(事務所)

第 4 条 この会の事務局は、事務局長の担当施設に置く。

(単位)

第 5 条 この会は、国臨協関信支部と提携し、各施設毎に単位を置く。

(会員)

第 6 条 この会の会員は、神奈川県にある独立行政法人国立病院機構の病院ならびにセンターに勤務する検査科の職員とする。

(役員)

第 7 条 この会に、次の役員を置く。

会長 1 名、事務局長 1 名、会計 1 名、理事若干名、会計監査 1 名。

(職務)

第 8 条 役員の職務は次の通りとする。

- (1) 会長は、この会を代表し会務を総括する。
- (2) 事務局長は、本会の会務を司る。
- (3) 会計は、本会の会計を担当する。
- (4) 理事は、各会務を担当する。
- (5) 会計監査は、本会会計を監査し総会に報告する。

(役員の選出)

第 9 条 役員の選出は次の通りとする。

- (1) この会の会長は、総会で承認することにより定める。
- (2) この会の理事は、各単位毎に選出し総会で承認する。

(3) この会の事務局長・会計は、理事会で互選する。

(4) この会の会計監査は、次期総会担当施設が行う。

ただし、会計と会計監査が同施設になった場合は理事会の協議により認めることができる。

(役員の任期)

第10条 役員の任期は、1ヵ年とするも再選を妨げない。

(役員の補充)

第11条

(1) 会長が任期途中で転勤、病気等で辞任した場合は、理事会で選任し次期総会で報告する。

(2) 会長以外の役員が任期途中で転勤・病気等で辞任した場合、該当施設は速やかに後任者を選出しなければならない。

(会議)

第12条 この会は、次の会議を開催する。

(1) 総会は、年1回開催し当日参集の会員をもって構成する。

(2) 理事会は、会長、事務局長、会計、理事をもって構成する。

(3) 災害等により集合型の総会が開催できない場合は、状況により書面決議等による総会を開催することができる。

(会計)

第13条

(1) この会の会計は、会員の会費等を以ってあたる。

(2) この会の会費は、1年間1人500円とし、各単位毎に第1回理事会までに納入するものとする。すでに納入した会費、その他拠出金は返還しない。

(3) この会の会計は、総会において会計報告及び会計監査報告をする。

(4) この会の会計年度は、10月1日より翌年の9月30日迄とする。

(旅費規程)

第14条

(1) この会の旅費は、交通費（普通車実費）とする。

(2) 行動費として500円支給する。

(付則)

(1) この会の会則は、総会の了承を得られなければ改廃することが出来ない。

(2) この会則は、平成22年11月1日から施行する。

(細則)

第1条 会則第12条1項の総会の開催場所は、各単位(施設)で持ち回りとする。

順番は、独立行政法人国立病院機構 神奈川病院、相模原病院、横浜医療センター、久里浜医療センター、箱根病院とする。

ただし、理事会の協議により変更することができる。

第2条 総会時の承認は、当日参集する会員の過半数の賛同をもって成立する。

第3条 次期会長候補は、理事会が推薦する。

理事会は、必要な場合文書等をもって協議することができる。

第4条 大規模施設等（相模原、横浜）からは複数名選出することができる。

神奈川地区会会員名簿

令和4年5月1日現在

● NH0 相模原病院

武山 茂
若林 弘
岩崎 聖二
小野 剛司
鈴木 芳明
川上 正裕
柳 進也
井田 貴明
安田 秀平
瀧澤 光彦
品田 祐希
安田 寿美子
福永 利恵子
安保 伸樹
藤原 由貴乃
竹川 真莉子
幡野 廣樹
錦織 春菜
田中 敬涼
小林 大暉
水永 ちひろ
堀口 陽平
西村 太志
中山 佳苗
村上 夏美
中谷 道昭
小林 史佳
小林 稜弥
山口 洋輝

● NH0 横浜医療センター

吉田 茂久
濱田 靖
遠藤 隆
阿部 浩
播井 美由紀
濱田 大輔
小林 真二
外川 靖士
内海 雅文
呉屋 薫
野中 照美
佐久間 みゆき
大畑 真利
山口 有希
畠山 奈帆子
高橋 千尋
中井 敦子
李 平淑
宮川 真名実
新本 恵理香
大森 衣里子
高橋 美樹
森 真衣子
良井 亜美
安中 未華

● NH0 神奈川病院

山田 大助
谷岡 健作
立川 恵子
中野 和明
大木 仁
松島 麻衣子
加山 新菜
金子 勇

● NH0 久里浜医療センター

樋口 晶子
屋代 達
水野 正浩
近藤 南
足立 裕美

● NH0 箱根病院

植松 明和
熊野 寿世

神奈川地区会会報誌 第 70 号

発行： 樋口 晶子
編集： 谷岡 健作
熊野 寿世
品田 祐希
内海 雅文
新本 恵理香
小林 稜弥